

平成 30 年 12 月 28 日
地震火山部

御前崎沖及び紀伊半島沖での地下構造探査に伴う 一部観測点の緊急地震速報への活用停止について

平成 30 年 12 月 31 日から平成 31 年 3 月 31 日までの予定で実施される地下構造探査に伴い、緊急地震速報の発表が通常より最大で 6 秒程度遅れることがあります。

平成 30 年 12 月 31 日から平成 31 年 3 月 31 日までの予定で、御前崎沖及び紀伊半島沖において、調査船を用いた地下構造探査が実施されます（添付の参考図）。

この地下構造探査に伴う振動を地震計が検知して緊急地震速報に影響することを避けるため、気象庁において、付近の地震観測点のデータの活用を停止することがあります。これにより緊急地震速報（警報）の発表が最大で 6 秒程度遅れることがあります。

問い合わせ先：地震火山部地震津波監視課 担当 森本
電話 03-3212-8341（内線 4544） FAX 03-3215-2963

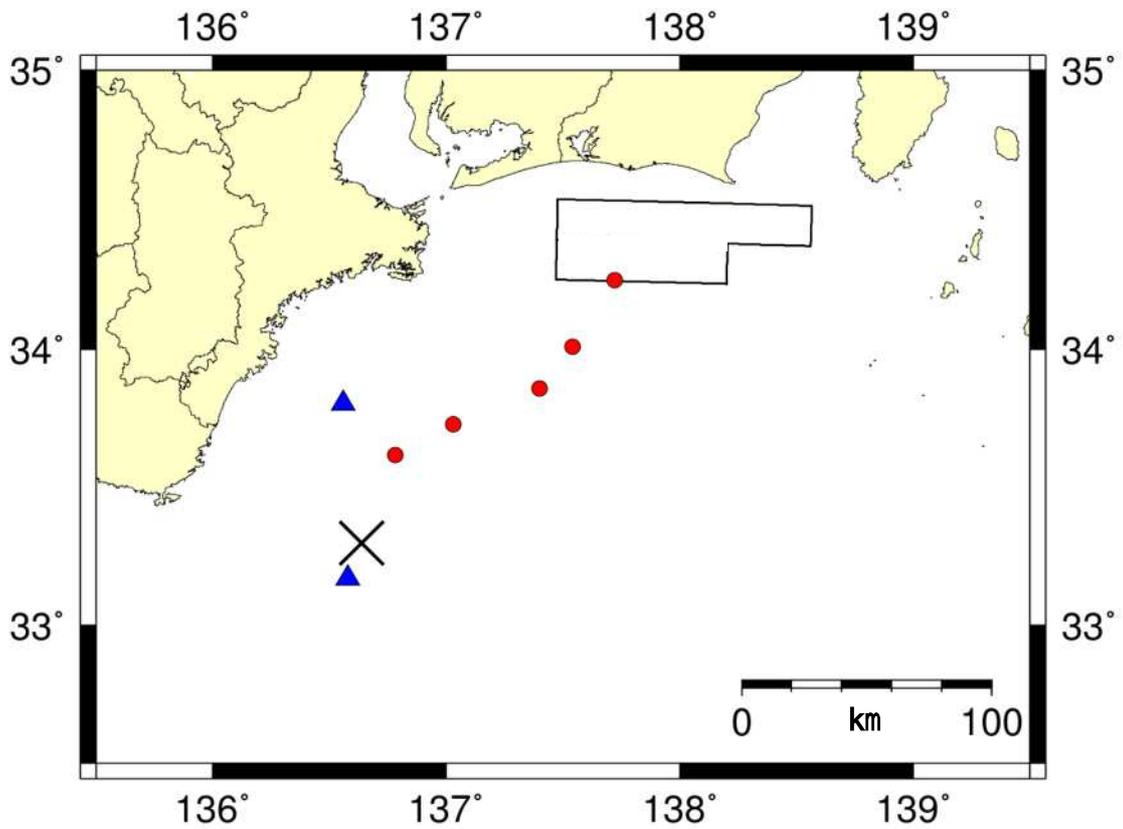
(参考図)

地下構造探査の場所

黒線で囲む領域：経済産業省資源エネルギー庁、及び（独立行政法人）

石油天然ガス・金属鉱物資源機構が実施

×印の地点：（国立研究開発法人）海洋研究開発機構が実施



緊急地震速報に活用している地震観測点

：DONET 観測点（（国立研究開発法人）防災科学技術研究所）

：東南海ケーブル式海底地震計（気象庁）